

VI 広島市観光施策の概要

1 目的

「活力にあふれにぎわいのあるまち」の実現に向け、即効性のあるにぎわいを誘導するため、広島ならではの「おもてなし」を基本姿勢に据え、ヒロシマという世界的な知名度や世界遺産、歴史を伝える魅力的な資源、豊かな自然をテコとしつつ、訪れた人に「また来てみたい」、「住んでみたい」と感じてもらえるよう、まち全体として「観光起こし」を推進する。

2 平成26年度の主な事業

(1) 都市のにぎわいづくりの推進

ア 観光イベントの実施

(ア) ひろしまフラワーフェスティバル

2014ひろしまフラワーフェスティバルを5月3日（土・祝）から5日（月・祝）までの3日間開催する。今年は、「きんさいYOSAKOI」を流し踊りにするなどの拡充を図り、中心部のにぎわいを創出する。

(イ) ゆかたできん祭（さい）

夏の風物詩である「ゆかた」をテーマとする「ゆかたできん祭」を6月6日（金）から8日（日）までの3日間開催する。メイン会場となる中央通りを2日間歩行者天国とし、ゆかたファッションショーや踊りなどのイベントを実施するとともに、袋町公園で飲食ブースを展開する。昨年に続き、徳島市から阿波踊り隊が参加し、本場の踊りで盛り上がるなど、中心部での夜のにぎわいを創出する。

(ウ) 広島みなと 夢 花火大会

広島港を舞台に「広島みなと 夢 花火大会」を7月26日（土）に開催する。「夢」をコンセプトに花火ミュージアムとして約1万発の花火を打ち上げ、夏の夜のにぎわいを創出する。

(エ) ひろしまライトアップ事業

広島を代表する観光イベント「ひろしまドリミネーション」を平和大通りをはじめ市内中心部において11月17（月）から1月3日（土）までの間で実施し、「おとぎの国」をコンセプトに夜のにぎわいを創出する。

イ MICEの推進

本市への一層の経済波及効果が期待できるMICEを推進するため、広島産学公連携MICE推進協議会等を通じ産学公の連携強化を図るとともに、誘致した会議のレセプションへの神楽団等の派遣、広島国際会議場の会議室等への無線LANの整備など、誘致・開催支援及び受入態勢の充実・強化に取り組む。

※MICEとは
Meeting 企業等の会議
Incentive Travel 企業等の行う報奨・研修旅行
Convention 国内外の機関・団体、学会等が行う会議
Exhibition/Event 展示会・見本市、イベント

(2) 観光プログラムの開発と充実

ア 瀬戸内しまのわ2014

3月21日(金)から10月26日(日)までの間、広島県及び愛媛県の島しょ部及び臨海部において、瀬戸内海の魅力を生かしたイベントや情報発信を行う「瀬戸内しまのわ2014」に、広島県、愛媛県及び関係市町とともに参画し、瀬戸内海地域の魅力発信に取り組む。

イ 広島湾航路活用促進事業

「JR西日本重点送客キャンペーン」(4月～6月)に合わせ、呉市、廿日市市及び江田島市と連携し、既存の定期航路を活用した瀬戸内海クルーズのキャンペーン等を行う。

- (ア) 大阪へのキャラバン隊の派遣などのプロモーション活動
- (イ) 広島湾周遊ガイドブックの作成

ウ 広島城観光振興事業

広島城の観光資源としての魅力向上を図るため、広島城二の丸を拠点に活動する「安芸ひろしま武将隊」のメンバーを増員し、おもてなしやPR活動を行うとともに、広島城の堀を活用した遊覧船の運航を行う。

エ 広島神楽振興事業

神楽を広島の観光資源としてメニュー化するための取組を行う。

- (ア) 旧日本銀行広島支店における「ひろしま夜神楽」の公演
- (イ) 湯来ロッジでの定期公演の実施回数増加や体験・参加型メニューの導入

(3) 来広者への「おもてなし」

ア 外国人旅行者の受入環境整備

(ア) 公共施設等における無料公衆無線LAN環境の整備

紙屋町シャレオ中央広場外1施設に、外国人旅行者が容易に利用できる屋内型の無料公衆無線LAN環境を「Hiroshima Free Wi-Fi」として整備する。また、民間企業と協定を締結し、Hiroshima Free Wi-Fiのエリア拡大や、Wi-Fi環境を活用して観光情報発信等を行う実証実験「Hiroshima Free Wi-Fiプロジェクト」を開始する。

(イ) 「Hello! Hiroshima Project (外国人旅行者向け観光ボランティアガイド活動)」の運営

JR広島駅に到着した外国人旅行者に対して、観光ボランティアガイドが、英語による歓迎のあいさつや簡単な道案内、観光案内などを行う「Hello! Hiroshima Project」を運営する。
(平成25年12月から活動開始)

イ 「広島おもてなしパス」の発行

市内宿泊施設利用者に対するサービスの向上を図るため、市内交通機関の乗車券と観光施設や飲食店の優待券をセットにした「広島おもてなしパス」の利用促進を図る。

ウ タクシーおもてなし向上推進事業

タクシー乗務員に対し、広島ならでの「おもてなし」ができるよう、観光や平和に関する研修を行う。

エ 平和記念公園レストハウスの改修(被爆70周年記念事業)

国の名勝である平和記念公園内に存在する被爆建物である平和記念公園レストハウスを観光資源として活用するため、耐震補強や地下部の保存を行うとともに、レストハウス機能を拡充するよう、文化庁と協議しながら、改修を行う。

- 26年度 老朽度・耐震診断調査
- 27・28年度 耐震補強計画立案、実施設計等
- 29・30年度 工事、オープン

オ 「水の都ひろしま」づくりの推進

(ア) 京橋川オープンカフェの新規展開

京橋川左岸に新たに2店舗の水辺のオープンカフェを整備するとともに、給排水設備等の整備を行う。

- 26年度 給排水設備等整備工事、店舗工事(事業者施工)
- 27年度 店舗工事(事業者施工)、開業予定

(イ) 水の都ひろしま推進協議会の運営

水の都ひろしま推進協議会(市民団体、学識経験者、国・県・市で構成)で、次の事業を実施する。

a 水辺のコンサート

春と秋の土・日曜日などに、原爆ドーム対岸親水テラスで、年20回程度のコンサートを開催する。

b 水辺のオープンカフェ

京橋川、元安川、本川の河岸緑地で合計9店舗のオープンカフェを実施する。

カ クルーズ客船の誘致

広島港に寄港するクルーズ客船に対するおもてなしの充実を図るため、「広島港客船誘致・おもてなし委員会」(平成26年4月発足)に国、県、商工会議所等とともに参画し、受入体制の充実に取り組む。

(4) 近隣市町等との連携による広島情報の発信

ア 観光ホームページの運営

本市の観光ホームページ「ひろしまナビゲーター」のうち、日本語と英語のページをスマートフォン対応化する。

イ 発地型の観光PR用パンフレットの改訂

旅行を計画する人が広島を旅行先として選ぶきっかけとなる発地型の観光PR用パンフレット「観光情報ガイドブックひろしま」を改訂し、首都圏の旅行会社等へ提供する。

ウ ビジット・ジャパン地方連携事業

本市への外国人観光客の着実な増加を図るため、VJ（ビジット・ジャパン）地方連携事業を活用し、国、県等の関係機関と連携した海外プロモーション活動やインバウンド商品化事業等に取り組む。（平成26年度の対象国：フランス・中国・台湾・タイ・韓国）